GROHE
Kitchen

Pure Freude an Wasser

シングルレバーキッチン混合栓取扱説明書（お客様用）

据付業者さまへのお願い

この取扱説明書と、保証書に貴店名ならびに取付日をご記入の上、お客様にお渡しください。

- □ このたびは、**GROHE** 製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- □ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- □ この取扱説明書（付属の保証書）をお読みになりました後もすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。
- □ この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
- □ 不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- □ 転居される場合、次に入居される方にこの説明書と付属の保証書をお渡しください。

もくじ

安全上のご注意 …… 1
特長 …… 3
各部の名称 …… 3
ご使用前に …… 3
寒冷地にて使用する場合 …… 3
ご使用方法 …… 4
ご使用上の注意 …… 5
お手入れの方法 …… 5
定期的な点検 …… 6
故障かな？と思ったら（修理を依頼される前に） …… 6
定期的な部品交換 …… 7
アフターサービスについて …… 7
認証登録番号 …… 7

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
この説明書では、機器を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　　味
⚠注意	この指示を無視して、誤った取扱をすると、障害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。
また下に示す記号は説明書や製品に表示してお客様に安全に正しく製品をお使いいただくようにしたものです。内容をよく理解して正しくお使いください。

この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

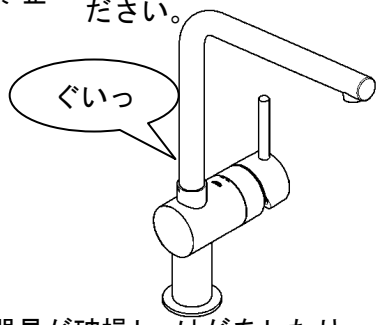
この絵表示は、「接触禁止」の内容です。

この絵表示は、「分解禁止」の内容です。

⚠注意

禁 止

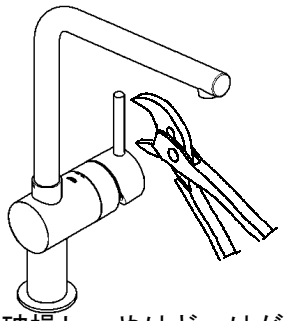
器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。



器具が破損し、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

分解禁止

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。



器具が破損し、やけど、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

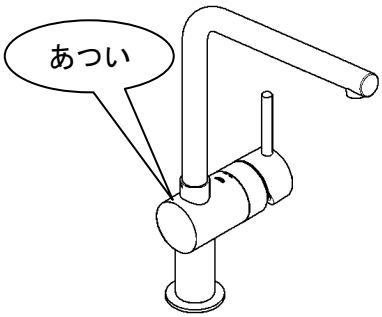
接触禁止

高温の湯をお使いのときには吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。

やけどするおそれがあります。

接触禁止

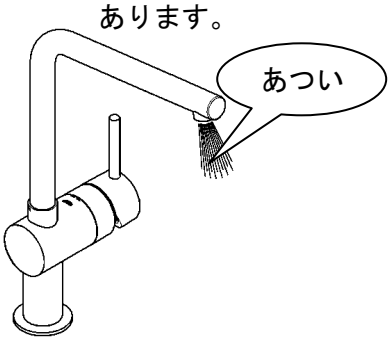
器具の後側は給湯側のため高温になっています。直接肌を触れないでください。



やけどするおそれがあります。

禁 止

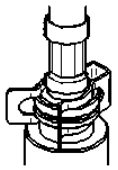
他所との同時使用により圧力変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇する事があります。



やけどするおそれがあります。

禁 止

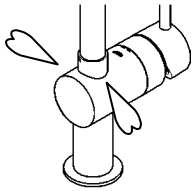
逆止弁（接続）アダプターの抜け止めカバー（白いプラスチック）及び固定リングは絶対に取り外さないでください。



抜け止めカバー及び固定リングが外れると、湯水が吹き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

禁 止

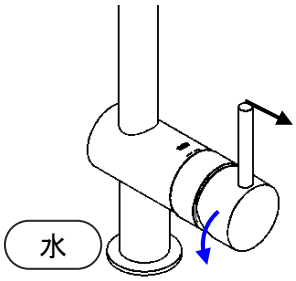
吐水口先端など、器具に浄水器や、その他の部材を取り付けますと、吐水口回転部分などから水漏れのおそれがありあます。



器具が破損し、やけど、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

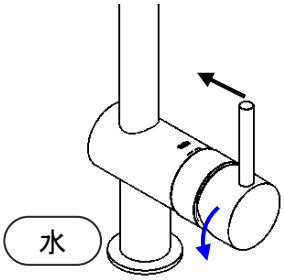
⚠注意

お湯をお使いになるときは、必ずレバーハンドルを水側から開栓してください。



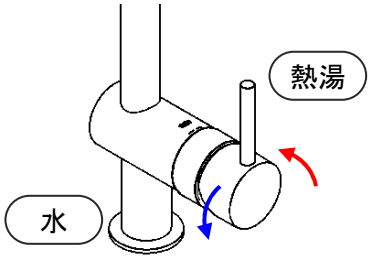
湯側から開栓すると高温の湯が出てやけどするおそれがあります。

お湯を止めるときは、必ずレバーハンドルを水側にしてから閉めて下さい。



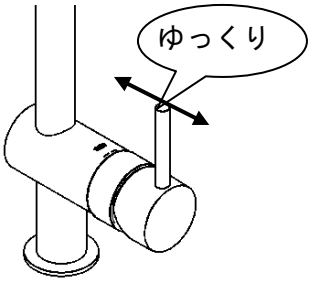
次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出て、やけどするおそれがあります。

高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。



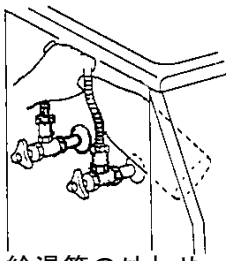
次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出て、やけどするおそれがあります。

レバー操作の急停止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。



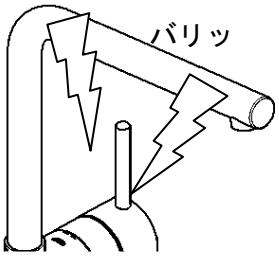
漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

キャビネット内に物を出し入れするとき、給水・給湯管に引っ掛けるなど、無理な力が加わらないようにしてください。



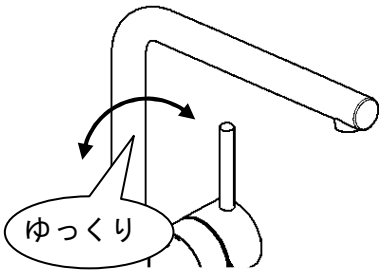
給水・給湯管の外れや、破損による漏水の原因となります。

凍結が予想される際は、水抜き方法に従って配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行なってください。



凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

首振り操作を乱暴に扱うと故障や事故を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。



故障・事故で家財などを破損し財産損害発生のおそれがあります。

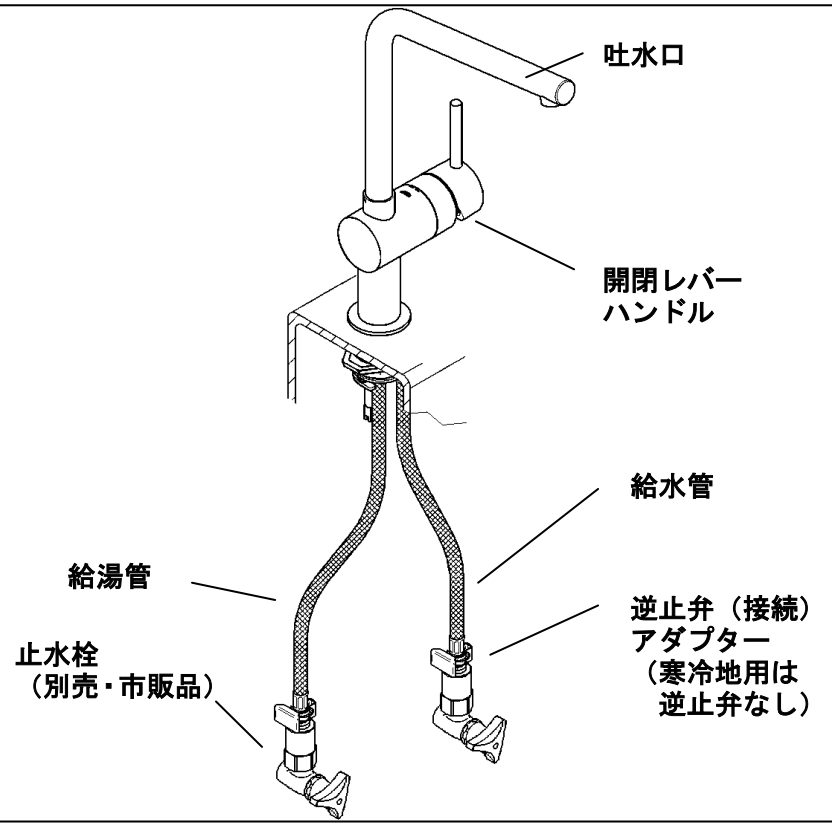
特　長

●バルブ機構が水栓本体と別のヘッドパーツ方式となっている為、バルブの開閉機構（スピンドル）が磨耗しても、この部分を交換するだけで本体を交換する必要がありません。
●バルブはセラミックを使用し、優れた耐久性があります。

各部の名称

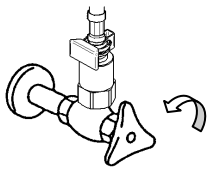
一般地用
G-SF-520S-JG
(JP562100)

寒冷地用
G-SF-520SN-JG
(JP562200)



ご使用前に

●キャビネットの中に設置されております、止水栓が開いているか確認してください。閉まっている時はハンドルを左に回し、開けてください。
※図はアングル型止水栓で記載されておりますが、縦型止水栓についても同様です。

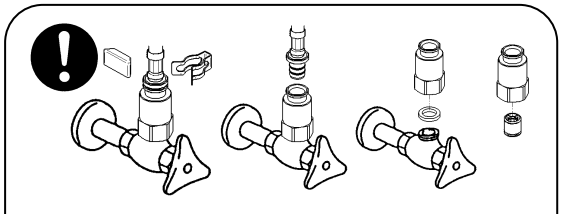


寒冷地にて使用する場合

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

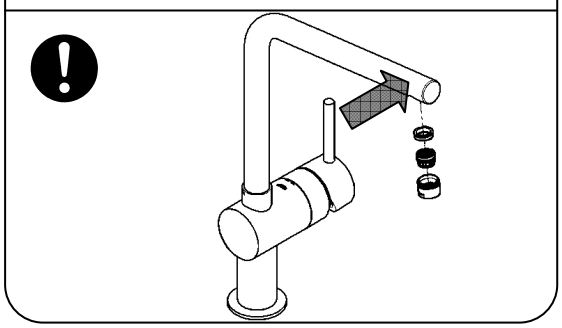
1．逆止弁の取り外し(寒冷地用は取り外してあります)

①クリップをはずし、クランパーを引き抜いてください。
②給水・給湯管を逆止弁アダプターから取り外してください。
③止水栓から逆止弁アダプターを取り外してください。
④逆止弁アダプター内部の逆止弁を取り外してください。
※水抜き操作後は必ず元に戻してください。
※寒冷地用として、逆流防止を別の部分に設置した場合は、内部の逆止弁を取り外してください。



2．水栓の操作

①逆止弁が取り外してあるか確認してください。
（寒冷地用には逆止弁は付属しておりません。）
②屋外の給水栓を閉じ、不凍栓を開放してください。
③水栓の開閉レバーハンドルを湯水の中央位置で開栓してください。
※水栓内の水は配管へ流し、ドレンバルブ等で開放してください。
※水抜けが悪い場合は、吐水口の整流器を外してください。
※冬期、水栓内部の水が凍結すると、本体部分および部品が破損する可能性がありますので必ず水抜きを実行してください。
※水抜き操作後は必ず水栓のハンドルを閉栓してください。



ご使用方法

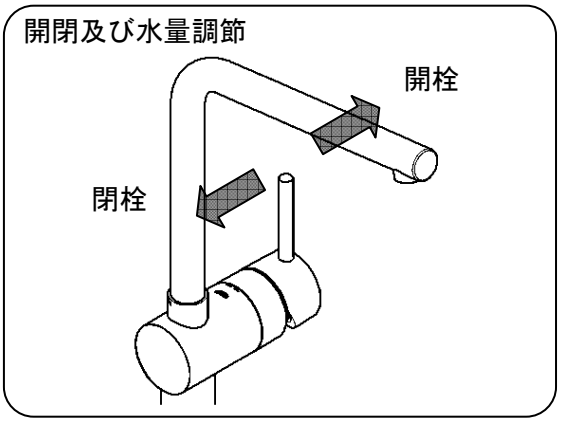
1．開閉レバーハンドル

●開閉及び水量調整

本体上部の開閉レバーハンドルを倒し起すことにより、バルブの開閉及び水量調整を行うことができます。

- レバーを外側に倒して　→　吐出が始まります
- レバーを内側に戻して　→　吐出が止まります

※レバーを外側に倒すに従って水量が増加します。
※約３０°で全開です。

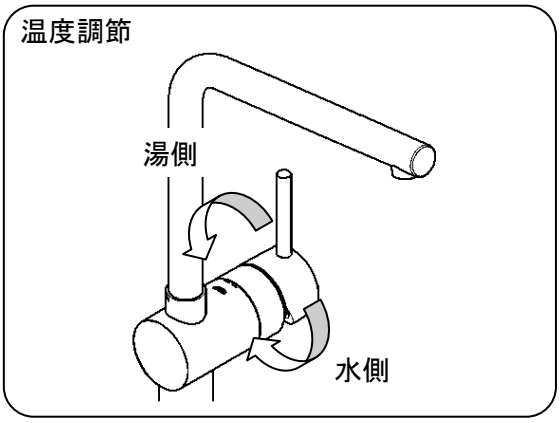


●温度調整

開閉レバーハンドルを回すことにより、湯水の供給量の割合を変化させ吐水温度の調整を行うことができます。

- 後ろ側に回して　→　湯（高温）になります
- 手前側に回して　→　水（低温）になります

※中間の範囲で任意の温度に調整します。
※高温をお使いになるときは、必ず手前側へ開閉レバーハンドルを回してからゆっくり後ろ側へ回して、お好みの温度に調整してください。

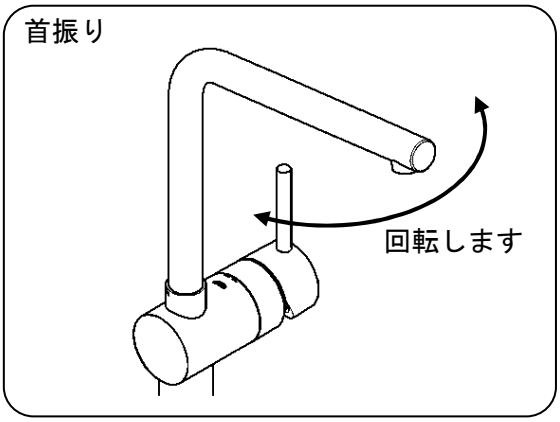


2．吐水口

●首振り

吐水口は１５０°回転します。

※ストッパーに当たり、それ以上無理に回転しますと、器具を損傷させる場合があります。
※ストッパーリングの取付方法により、首振り角度は、０°、３６０°に変更できます。詳しくは据付説明書をご参照ください。



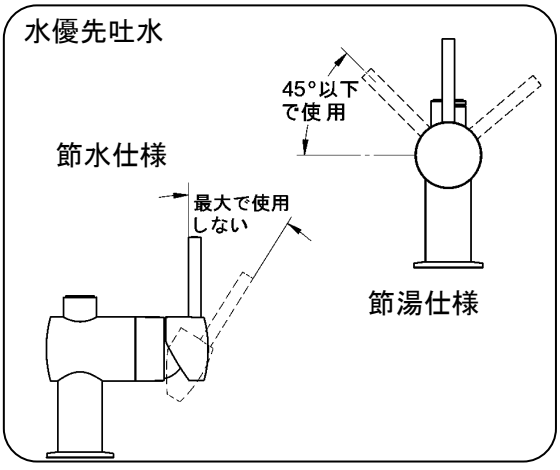
水優先吐水

●開閉及び水量調整

水平から上方４５°に位置する時に湯が吐出されない構造になっております。
その下側でご使用してください。
水量調整は最大以下でご使用してください。

- 節湯仕様　→　手前の水側で使用。
- 節水仕様　→　少量で使用。

※水優先吐水は環境に良い使用方法です。
※多少のご不便がございますが、節湯、節水にご協力をお願いいたします。



⚠注意　ご使用上の注意

● ガス給湯器と合わせてご使用の場合

◎比例制御式の給湯器の設定は、温度調節を高温（使用温度＋１０℃）にしてください。

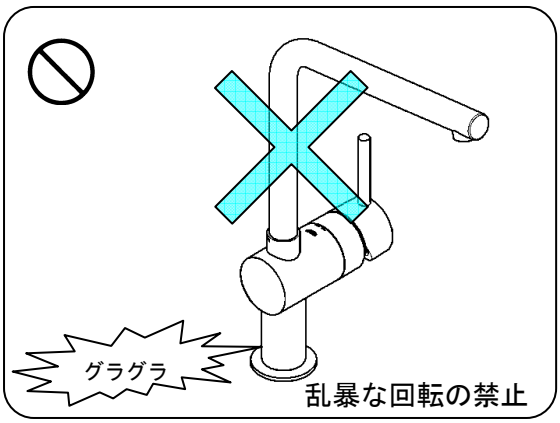
◎能力切替付きの給湯器では、能力を季節に合わせてご使用ください。
※吐水量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。

◎給水圧力が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。このときは、給湯器の設定温度(能力切替は能力)を少し上げてお試しください。

● レバーハンドルの操作

◎ハンドル操作は、急激な開閉は行わないでください。
※急激な操作をすると水栓または、配管部で音がでたり、吐水温度が急激に変わります。

◎ 混合栓を使用する際は、必ず水から吐水してください。
※熱湯が吐出して熱湯でやけどする恐れがあります。



● 吐水口の乱暴な回転の禁止

◎吐水口Oリングが劣化してきますと吐水口の回転が重くなります。
その状態で吐水口を無理な力で回さないでください。
※本体がゆるみ、給水・給湯管が外れるなど、破損による漏水の原因となります。弊社サービス課にご相談ください。

● キャビネット内を使用するにあたって

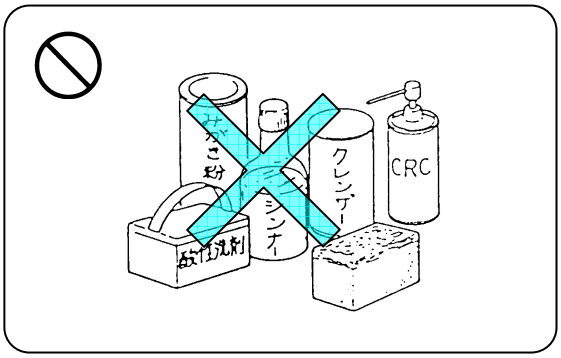
◎キャビネット内の物を出し入れするときは、給水・給湯管および逆止弁（接続）アダプターに引っ掛けるなどして、無理な力が加わらないようにしてください。
※給水・給湯管および逆止弁（接続）アダプターが外れるなど、破損による漏水の原因となります。

お手入れの方法

◆汚れた場合は

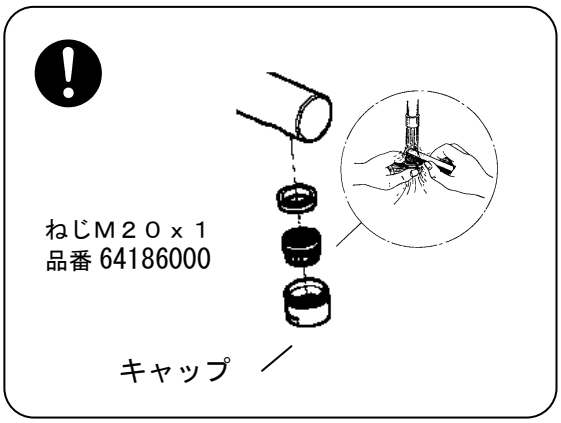
いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

- 表面が汚れたら、柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、適度に薄めた中性洗剤をふくませた布で､ふきとってください｡そのあと水でぬらした柔らかい布をよく絞って、洗剤をふきとり、最後に柔らかい布でからぶきしてください。
- お手入れの際は、クレンザー・みがき粉や粗い粒子を含む洗剤・塩素系洗剤・シンナー・ベンジン及びナイロンタワシなどは、器具の表面を傷つけたり、侵したりしますので使用しないでください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤で洗浄した場合は、タイル及び水栓を十分に洗い流してください。



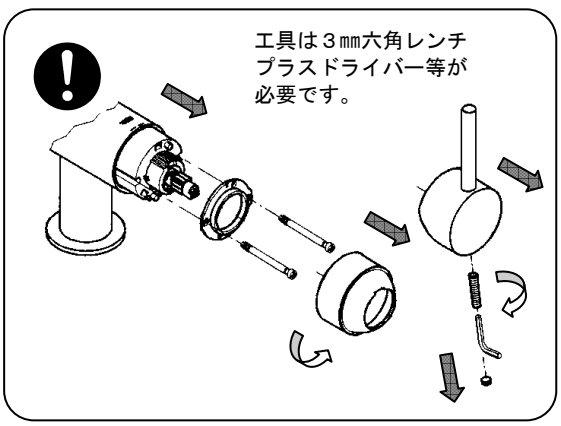
◆エアレータの清掃

整流器（エアレータ）のゴミ詰りは機能を低下させます。
ときどき次の要領で清掃してください。
清掃完了後は、キャップを確実に締め付けてください。
キャップの締め付けが不十分ですと、水が漏れるおそれがあります。
①レバーを止水状態にしてください。
②キャップ（整流器・エアレータ）をゆるめてください。
③整流器・エアレータのゴミを取り除いてください。
※工具(19㎜スパナ)を使用して確実に締め付けてください。
※新品時にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。



◆ヘッドパーツ（カートリッジ）のゴミ詰り等

摩耗・劣化した部品は、ご自身で交換するか、交換の依頼をしてください。
①必ず止水栓等で、水・湯の供給を止めてください。
②キャップを抜き取り、３㎜六角レンチで止ビスをゆるめ、レバーハンドルを引き抜いてください。
③化粧カバーを半回転させてから、引き抜いてください。
④プラスドライバーでゆるめ、カートリッジを取り外し、清掃または交換してください。
※作業前は止水栓を閉めて、開けるときには必ず組み立てを完了しておいてください。
※注意点として、本体の三つの溝とカートリッジのパッキンに合わせる。

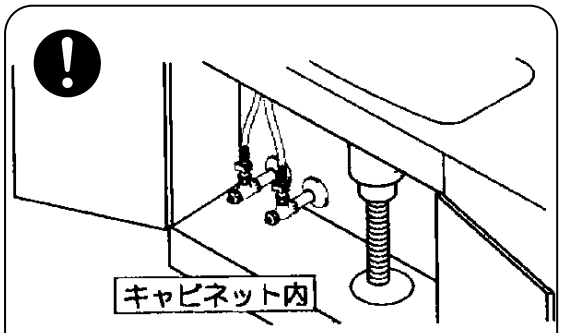


⚠注意 定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

●配管まわりの水漏れ（１ヶ月に１回程度）
◎配管まわり（キャビネット内）の水漏れがないか確認してください。

部品の劣化・磨耗などによって生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検をおこなってください。



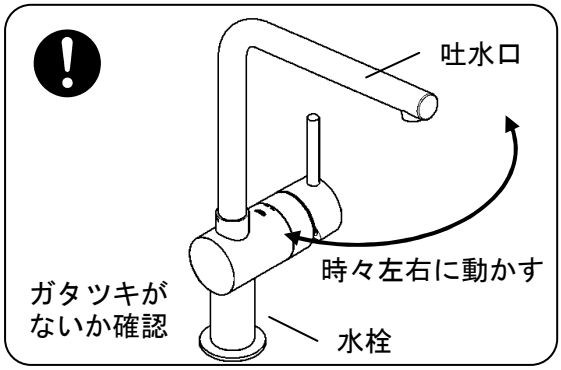
水漏れがないか確認

●水栓のガタツキ（１ヶ月に１回程度）
◎水栓のガタツキがないか確認してください。

ガタついたままお使いになると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

●吐水口の回転（１ヶ月に１回程度）
◎時々吐水口を左右に動かしてください。

吐水口を長期間回転させずにご使用になると回転部に水アカ等が付着し、回りにくくなることがあります。
また無理に回そうとすると水漏れの原因になります。

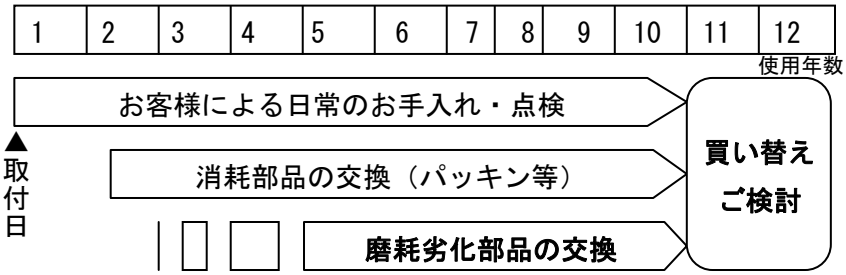


故障かな？と思ったら （修理を依頼される前に）

このようなとき	よくある例	ここをお調べください
● 吐水量が少ない （少なくなってきた）	①配管内のゴミが口金にたまってきた。 ②給湯器の温度設定が不適切である。	(1) 吐水口先端の整流器（エアレータ）にゴミ詰りがないか確認してください。 ※「エアレータの清掃」をご参照ください。 (2) ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替付のものは、適正能力にセットされていることを確かめてください。
● 適温の温度調節がスムーズに出来ない	③配管内のゴミがヘッドパーツにたまってきた。 ④給湯器から十分なお湯がきていない。 ⑤水または、湯のいずれかの圧力（勢い）が強過ぎる。	(3) 上記同様、整流器（エアレータ）にゴミ詰りがないか確認してください。 (4) 給湯器から十分なお湯がきていることを確認してください。 (5) 湯側・水側とも吐水量が同等であることを確認してください。 ※以下の方法で調整してください。 1. レバーハンドルを湯側いっぱいの位置に合わせて吐出し、湯側の止水栓で適量に調整します。 2. 水側いっぱいの位置に合わせて、湯側いっぱいの位置の吐水量と同じか、または1.5倍位になるように、水側の止水栓を調整します。
● 水の量が多すぎて使いずらい ● 使用時に高い音がする	⑥水の圧力(勢い)が強過ぎる。	上記と同様の方法で止水栓を締め込んで水または湯の量を適量に調整してください。
● 完全に止水できない	⑦内部ヘッドパーツにゴミが付着、または破損している。	販売店、据付業者に連絡してヘッドパーツを洗浄、または交換する。
● 吐水口回転部より水が漏れる	⑧吐水口Ｏリングにゴミが付着、または破損している	販売店、据付業者または弊社サービス課に連絡してＯリングを洗浄、または交換する。
● 吐水口が動かない､動きが重い	⑨ストッパー､クリップが完全にはまっていない。 ⑩吐水口Ｏリングが劣化してきた。	販売店、据付業者に連絡してストッパー、クリップをきちんと据付してもらう。 販売店、据付業者または弊社サービス課に連絡してＯリングを交換する。

※上記処置で故障が直らない場合は、販売店、据付業者または当社サービス課へご相談ください。
※上記処置以上の分解、修理、改造は行わないでください。ケガをしたり、故障、破損の恐れがあります。

定期的な部品交換（部品は水栓の種類によって異なります）



部品の交換

部品が磨耗・劣化すると水漏れの原因になりますので、交換が必要です。
磨耗・劣化部品（水栓の種類によって異なります）
例）ヘッドパーツ、口金（整流器・エアレーター）
部品の交換については取扱店・販売店またはグローエジャパンサービス課にお問い合せください。

補修用部品の供給期間

この製品の補修用部品（機能維持に不可欠な部品）の供給期間は製造中止後１０年です。
なお、補修部品のご購入については取扱店・販売店またはグローエジャパンサービス課にお問い合わせください。

アフターサービスについて

◆修理を依頼されるとき

お求めの取扱店、または弊社サービス課に修理を依頼してください。
＜保証期間中は＞
- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

＜保証期間が過ぎているときは＞
- 修理により使用可能な商品については、希望により有料にて修理させていただきます。

＜修理料金は＞
- “技術料”＋“出張料”＋“部品代”で構成されています。

＜連絡していただきたい内容＞
１．ご住所、ご氏名、電話番号　２．商品名　３．品番（保証書または各部の名称）
４．ご購入日　５．故障内容、異常の状況　６．訪問日

◆修理の依頼・お問い合わせは

グローエジャパン株式会社サービス課
０５７０－６６６－３６８
受付時間　平日 9：30～17：30（受付・お問い合わせ）
平日夜間・土・日・祝日 24 時間（受付のみ）

シングルレバーキッチン混合栓 一般地用

品質確認実施工場　グローエジャパン検査工場

認証登録番号　Ｃ－８５

性能項目
耐圧性能
浸出性能
水撃限界性能
逆流防止性能

特記事項　なし

シングルレバーキッチン混合栓 寒冷地用

品質確認実施工場　グローエジャパン検査工場

認証登録番号　Ｃ－８７

性能項目
耐圧性能
浸出性能
耐寒性能
水撃限界性能

特記事項　寒冷地用（耐寒性能適合品）「寒・逆止無し」

グローエジャパン株式会社

107-0061　東京都港区北青山２－１１－３　A-PLACE 青山６階
TEL 03-5775-7500　FAX 03-5775-7611
541-0057　大阪市中央区北久宝寺町４－３－５　本町サミットビル３階
TEL 06-4708-6340　FAX 06-4708-6485
GROHEJAPAN ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ
http://www.grohe.com/jp